

- 🌸 司会進行/渡久地 明
- 🌸 ロータリーソング/手に手つないで・四つのテスト
- 🌸 入会式/黒島 剛氏
- 🌸 メークアップ/南波正幸・森田安高・玉城守雄  
大城文博・宮良 薫(計5名)

## 出席報告

会員総数 39名 出席義務会員 38名  
出席数 23名 欠席数 15名  
出席率 65.79%(2月 通算出席率 70.18%)

## 本日のニコニコ

BOX ￥ 0(累計¥39,000)  
コイン ￥3,390(累計¥83,396) **合計¥122,396**

### 「第5回日台ロータリー親善会議」

開催日 6月5日 13:00～  
会場(式典) 石川県立音楽堂コンサートホール  
(親睦会) ホテル日航金沢  
登録料 20,000円  
※申し込みは事務局までお願いします。

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま 191号 ★  
2016年2月12日発行

### ・2016 学年度 新規米山奨学生の合格者が決定

昨年12月～今年1月末にかけて、2016年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が各地区選考委員会によって行われ、合格者が決定しました。

1,329人の申し込みに対し、奨学金プログラム別の合格者数は、学部・修士・博士課程奨学金【指定校応募】が522人、地区奨励奨学金【指定校応募】が15人、クラブ支援奨学金が6人、海外応募者対象奨学

金【海外からの個人応募】が6人となりました。このほか、海外学友会推薦奨学生を現在選考中です。

現在の合格者を国籍・地域別に見ると、中国40.3%、韓国14.2%、ベトナム14.0%、台湾4.4%、モンゴル4.0%の順となっています。4月からは、昨年度からの継続奨学生を合わせた749人が2016学年度奨学生となる予定ですが、今後、他の奨学金合格による辞退、海外学友会推薦奨学生の可否などによって、人数の変動が見込まれます。

### ・寄付金速報 — 下期も順調なスタート —

1月までの寄付金は前年同期と比べ4.6%増、約4,780万円の増加です。普通寄付金が0.2%増、特別寄付金が7.1%増となりました。1月のみの単月納入額比較では、直近5年間のうち、普通寄付金は4番目の金額と少々送金が遅れておりますが、特別寄付金はトップの金額で、下期も順調なスタートを切ることができました。

1月は普通寄付金(クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付)下期分の納入が主になります。今年度は1月末までに全クラブの73%、1,655クラブから納入いただきました。

引き続きご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

※当クラブでは会員お一人1,500円を普通寄付で納入しております。

## 新入会員紹介



黒島 剛氏

生年月日:1961年9月24日(54歳)  
勤務先:映像工場  
職業分類:映像制作

# 例会風景



入会の誓い

推薦者、大浜一郎さんの代わりに、紹介して頂きました。

# 地区大会

2月24日(水)・25日(木)

ホテルニューオータニ

## RI会長代理 ご挨拶

ビチャイ ラタクル元 RI 会長

1961年、妻と共に日本を訪れ、初めての国際大会に参加しました。35歳だった私は、タイ国で2番目のロータリークラブ、バンコック・ドンブリ・クラブの会長になるための勉強をこの大会でスタートさせました。

私のロータリーに関する考え方を共有して頂きたく、ロータリーの「永遠の原則」についてお話したいと思っております。ロータリーの「永遠の原則」は、私たちにロータリー会員の基本的な原理を与えます。ポールハリスの後に続いた人々がロータリーを他の団体と異なったものにしていく原理に従い、実行してきたことによって、この原理は世代を超えた時の試練に耐えてきました。私たちがロータリーに入会する第一の理由は「奉仕」です。これが何よりも重要な使命です。他の人に常に「親切であれ、そして役立つものであれ」という理想を持ち続ける意志と強い決意を与えてくれるのも、ロータリーです。この「永遠の原則」は、正直であれと教えてくれましたし、高潔と冷静沈着という倫理の核心へ導いてくれます。自分自身の利益のため、守るべき誓約、そして人々を助けるという奉仕の理想を忘れることは、とても恥ずかしいことでしょう。

毎週の例会に出席し、食事をして、それ以外は何もしない、というだけのためにロータリーに入会するというのは、実に不愉快なことではないでしょうか。ポリオプラスや平和を目指すプログラム、とりわけ米山奨学事業は「世界へのプレゼント」として好例で、ロータリーが本当は何なのか、についての良い公共イメージを作り上げるショーケースです。私たちが持っている最大の財産は、単に「世界へのプレゼントになろう」だけではありません。それは、私たちロータリアン自身です。それが「世界へのプレゼント」である、と言うことができる財産なのです。

したがって、私たちの責任は、適任者を私たちの仲間になるよう勧誘する「磁石」として奉仕することになります。しかし、悲しむべきことに、国際ロータリー会員の適格性に関する、この基本を無視してきました。その結果として大勢がロータリーを去って行きました。

この問題を乗り越えるためのラビ会長の新しいアイ



世界へのプレゼントになろう

K. R. ラビ・ラビンドラン

会長:新 賢次 副会長:前木 繁孝  
直前会長:上原 秀政 幹事:宮良 薫  
副幹事:前原 博一 SAA・出席:羽地 宏幸  
情報・会報:名渡山 秋彦

創立記念日 1962年3月12日 (55周年)

2016年(平成28年)3月2日(水) 第31回 例会(通算2692回)

ディアは会員数を維持できたガバナーに利益や報酬を与えるというものです。利益って何でしょう？私には本当に分かりません。現在の指導者がそのようなアイデアをなぜ持つのか、理解できません。これは明らかに「ロータリー」ではない、と言えます。これは世界中の多くの国で起こってきた「頹廃(たいはい)」なのです。ロータリーはそのような方法を採用してはいけません。ロータリアンであることによって利益について考えても、期待してもならないことを、私は強く確信しています。私たちロータリアンすべては、与えることはあっても、得ることがあってはなりません。

私自身、変化に反対しているわけではありません。変化は私たちが前進し、生きていくこの現代では、なくてはならないものです。しかし、変化はロータリーを柔軟性を持って、さらに単純に、そして効率的にするものでなければなりません。なぜならばロータリーは事業会社でもなければ、単なるボランティア団体でもないからです。いかなる変化もロータリーの「永遠の原則」を曲げるものであってはなりません。

私たちは毎週の会合を持ち、ふれあいます。私たちの使命を達成し、「世界へのプレゼントになる」ために私たちを結びつけているのが、この個人的な交流なのです。ロータリーの指導者たちが、常に心にとめてほしいことがあります。それはロータリアン全員が、報酬なしにより良い人間社会の実現のために働く奉仕団体の「ボランティア」である、という事です。あなた方は「超私の奉仕」という理想を支える「ボランティア」です。したがって、あなた方がロータリーの最大の財産であり、あなた方が私たちの組織の本当のバックボーンなのです。

ロータリーの「変革」というとき、私は決して「変革」に反対しているのではない、ということを確認しておきたいと思えます。この現代社会では、もちろん変革は欠くことのできないものです。100年以上を経た現在、自分自身で自ら評価し、様々な変化に直面していることを認める、まさにその時期を迎えています。変化する世界と歩調を合わせていくことが不可欠です。しかし、ロータリーは企業の経営とは違って、自発的な奉仕の団体です。したがって、「基本の哲学」や「永遠の原則」を曲げるものであってはなりません。

残念ながら現在のロータリーは、過ぎし日のものとは異なっているように、私には思えます。それは1961年の国際大会の時に東京で私が見、そして学んだもの、そしてそれ以来、今日まで世界中のシニアリーダーから時間をかけて学んできたものとは大きく異なってい

ます。私たちに最も打撃を与えているのは、「自発的奉仕組織」から「共同作業的運営」への「変革」です。

国際ロータリーの理事会は、世界中のロータリー運動の全体を統治していますが、理事会が私たちに、してほしいという事に、全て従わなければならないという事ではありません。個々のロータリークラブは自立した存在であり、この自治権を通して、草の根ロータリアンとRI理事会は同じく重要であることを認識しなければなりません。従って私たちロータリーは自発的奉仕の団体であるが故に、トップダウンではなくボトムダウンで運営されるべきであると、注意深く見つめる必要があります。トップダウンで運営されるべきなのは、事業会社だけなのです。



地区大会会場「鶴の間」



鈴木 番ガバナー



ビチャイ・ラタクル元RI会長



二次会は、東京タワーを見え、スカイビューも素晴らしいです。



平成 28 年

安全方針  
(八重山港運)

- 一、安全はすべてに優先する事と心得る
- 一、荷役業務、貨物集配業務等の作業に当たっては常に細心の注意を払う
- 一、関係法令、諸規則、作業マニュアルの遵守
- 一、安全衛生マネジメント(PDCA)の徹底



平成 25 年



昭和 38 年

<今週の職場:八重山港運(株)(渡久地 明会員)>

当社は「夢とくらしと文化をはこぶ」琉球海運グループの八重山郡総代理店(船舶、荷役、一貫輸送等)として、おかげ様で今日まで53年間当地域の物流の一端を担って参りました。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

経営理念(=琉球海運)

『私たちは、お客様を大切にする企業 地域社会に愛される企業 社員が生きがいを感じる企業を目指します。』

例会日 水曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311  
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917  
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>  
E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)